

「社会福祉法人の地域との関係等に関するアンケート」
調査報告書

千葉県社会福祉協議会

平成30年3月

1.調査の概要

(1) 目的

社会福祉法人・社会福祉施設の地域貢献活動の現状を把握し、今後本会として貴法人・施設との連携・協働を進める資料とするため。

(2) 実施主体

千葉市社会福祉協議会

(3) 実施対象

千葉市内の社会福祉施設

(4) 調査内容

I 基本情報

II 社会福祉法人の地域との関係等について

(5) 調査方法

郵送で通知を行い、web上のアンケートシステムにて回答

(6) 実施期間

平成30年2月5日（月）～平成30年2月23日（金）

(7) アンケート回収率

発送数：220施設 回答数：92施設 回収率：42%

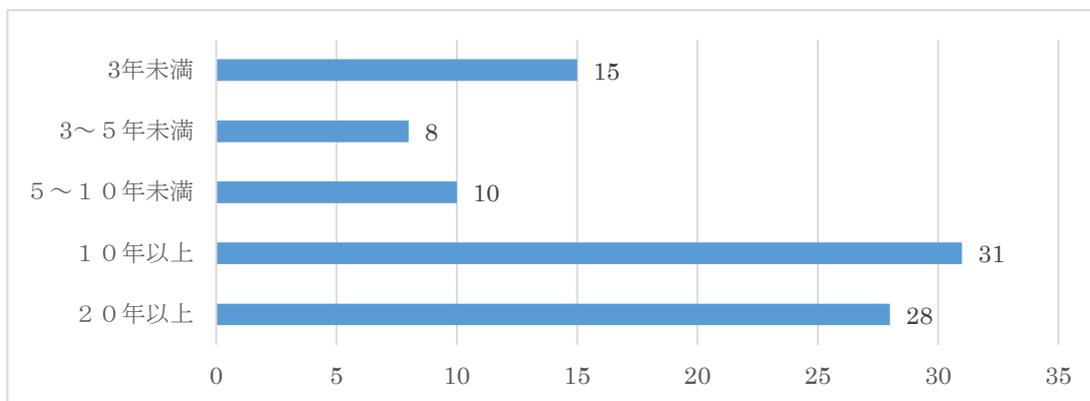
施設種別	発送数	回答数	回収率
児童施設・事業所	5	5	100%
保育施設・事業所	60	14	23%
高齢者施設・事業所	99	44	44%
障害者施設・事業所	55	28	51%
保護・救護・更生施設・事業所	1	1	100%
合計	220	92	42%

2.調査結果

I 基本情報（平成30年1月末日現在）

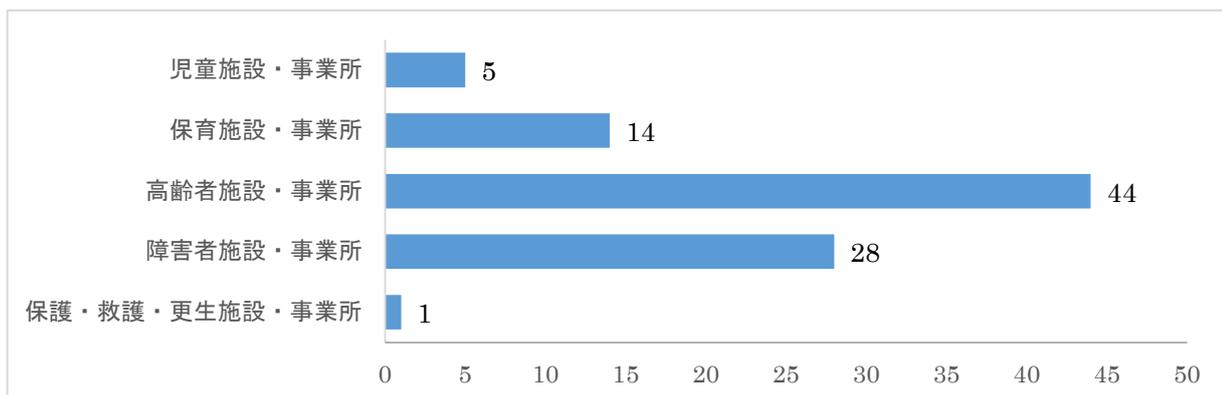
（1）現在地での開設年数

項目	施設数	割合
3年未満	15	16%
3年～5年未満	8	9%
5年～10年未満	10	11%
10年以上	31	34%
20年以上	28	30%
合計	92	100%



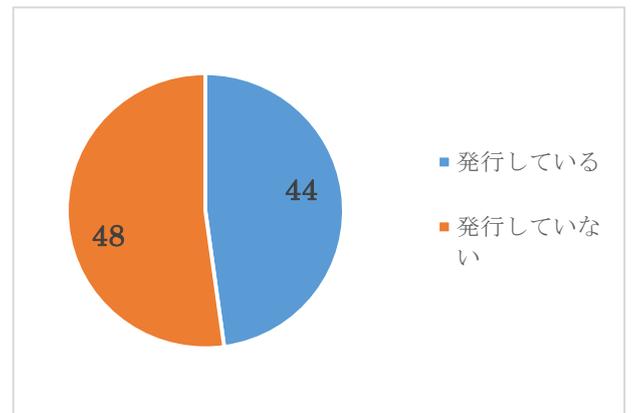
（2）施設種別

項目	施設数	割合
児童施設・事業所	5	6%
保育施設・事業所	14	15%
高齢者施設・事業所	44	48%
障害者施設・事業所	28	30%
保護・救護・更生施設・事業所	1	1%
合計	92	100%



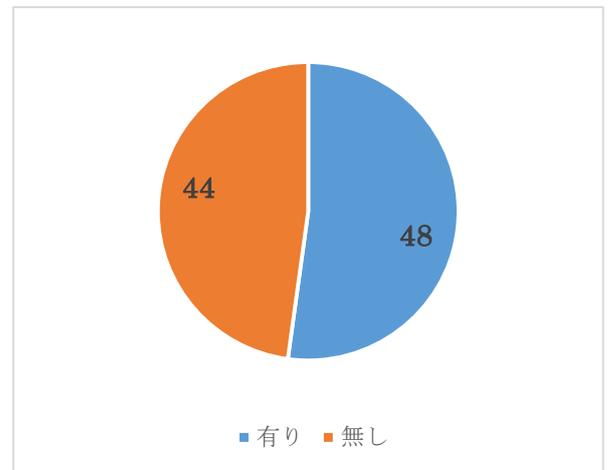
(3) 広報紙の発行

項目	施設数	割合
発行している	44	48%
発行していない	48	52%
合計	92	100%



(4) 地域との連携業務を行う職員

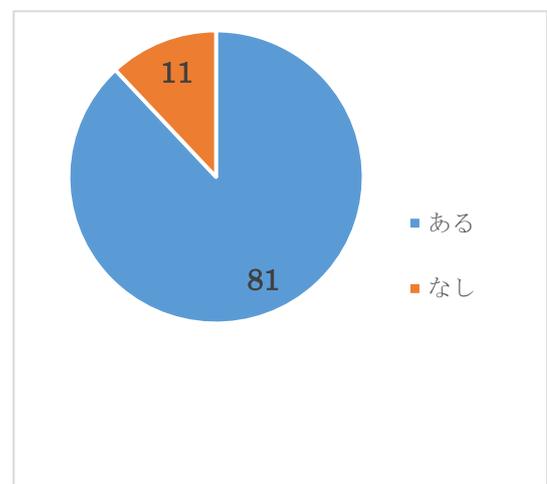
項目	施設数	割合
有り	48	52%
無し	44	48%
合計	92	100%



II 社会福祉法人の地域との関係等について

問1 貴施設では、地域との関係（人的関係、事業交流、相互協力活動、施設のスペース・備品の提供など）がありますか。

項目	施設数	割合
ある	81	88%
ない	11	12%
合計	92	100%

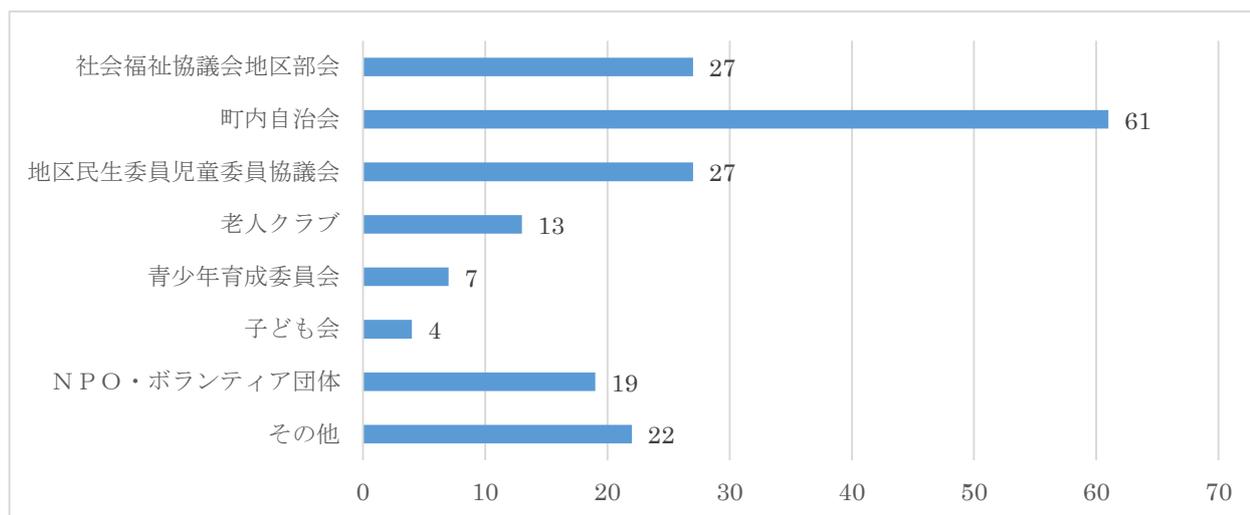


問1で「1」（ある）と回答された方におたずねします。

問2 貴施設と具体的な関係がある地域団体はどこですか。該当するものをすべて選んでください。

	項 目	回答数
1	社会福祉協議会地区部会	27
2	町内自治会	61
3	地区民生委員児童委員協議会	27
4	老人クラブ	13
5	青少年育成委員会	7
6	子ども会	4
7	NPO・ボランティア団体	19
8	その他	22

(n=81)



【その他の記述例】

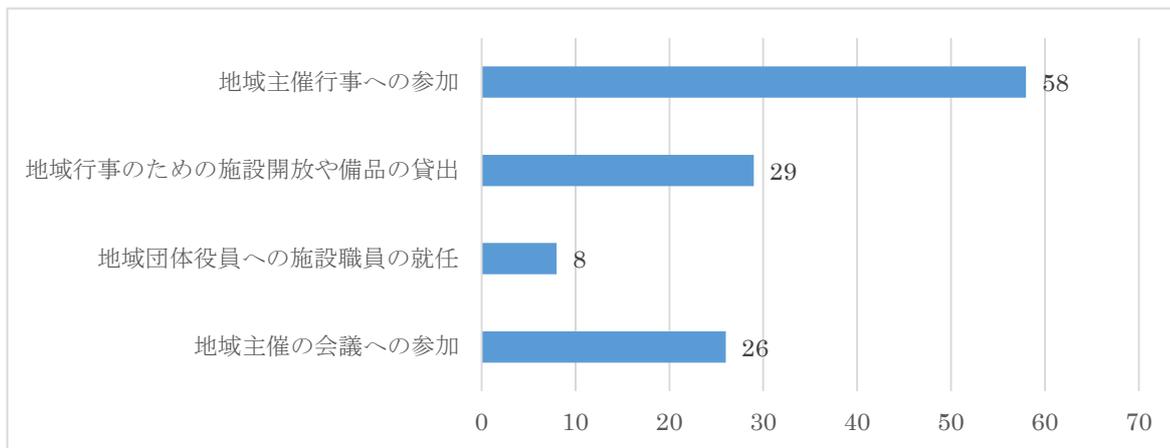
公民館、保育園、幼稚園、小・中学校、地域福祉施設、子育てサロンなど

問3 地域との関係で行っている活動としてはどのようなものがありますか。該当するものをすべて選んでください。

1 地域主体で、施設が参加・協力する活動等

	項 目	回答数
1	地域主催行事への参加	58
2	地域行事のための施設開放や備品の貸出	29
3	地域団体役員への施設職員の就任	8
4	地域主催の会議（地域の福祉ニーズの開拓等につながる場）への参加	26

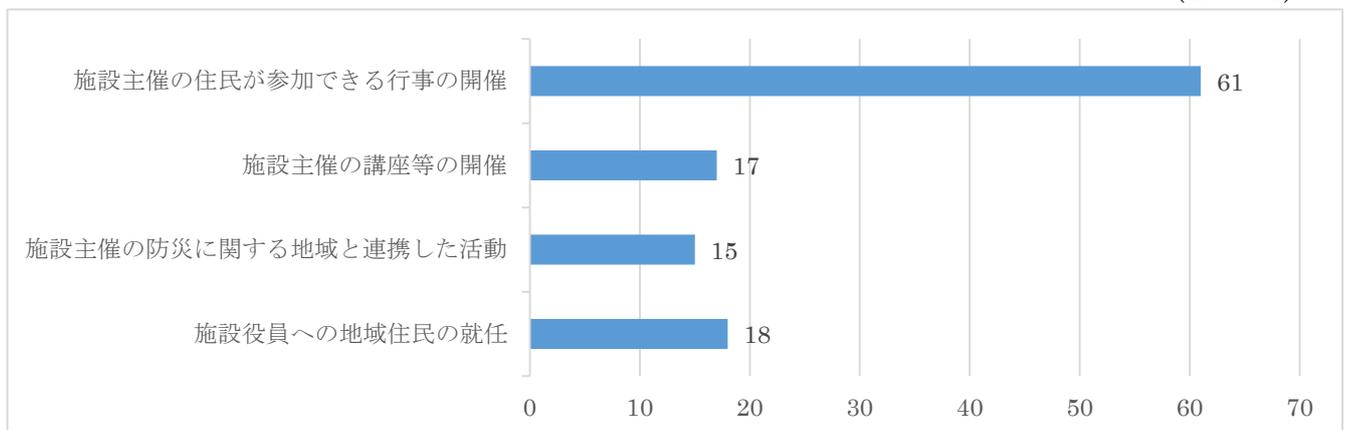
(n=81)



2 施設主体で、地域が参加協力する活動等

	項 目	回答数
1	施設主催の住民が参加できる行事の開催	61
2	施設主催の講座等の開催	17
3	施設主催の防災に関する地域と連携した活動	15
4	施設役員への地域住民の就任	18

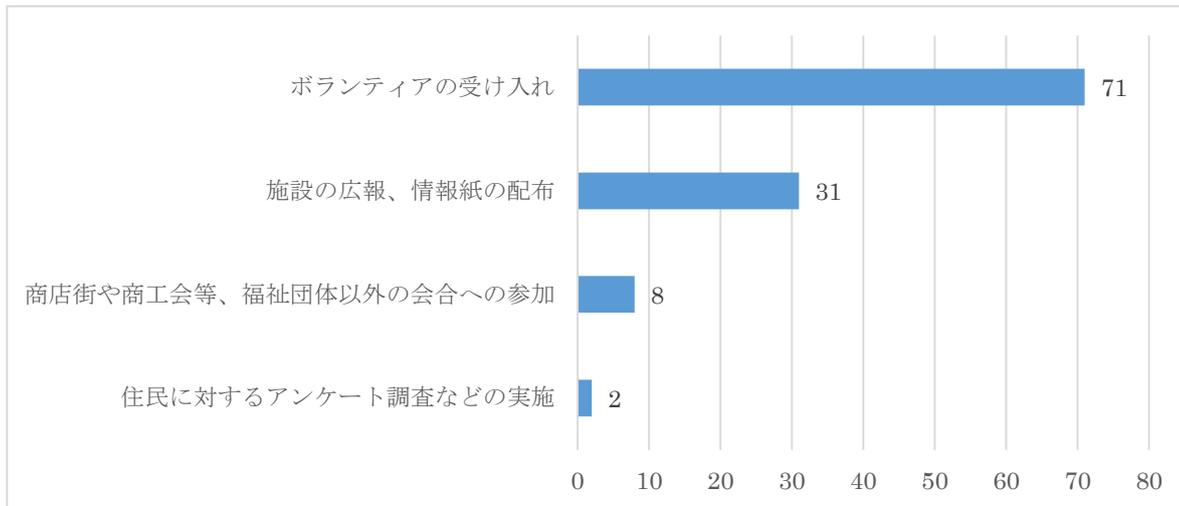
(n=81)



3 その他（単独活動含む）

	項 目	回答数
1	ボランティアの受け入れ	71
2	施設の広報、情報紙の配布	31
3	商店街や商工会等、福祉団体以外の会合（生活支援サービスの開拓等につながる場）への参加	8
4	住民に対するアンケート調査などの実施	2

(n=81)



4 上記以外の活動

回答数	19
-----	----

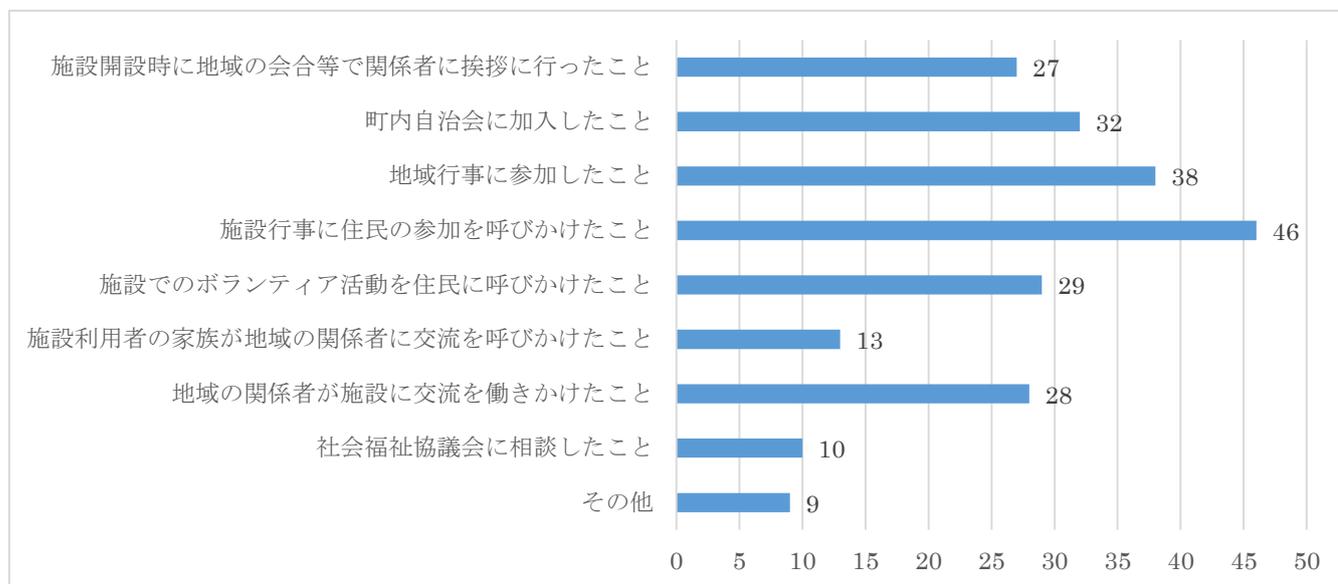
【記述例】

- ・ 近隣中学校の職場体験受け入れや行事への参加、高校の道徳の授業参加
- ・ 法人が所有する畑で地域の小学生が芋ほり体験
- ・ 災害時の緊急避難場所として、毛布や備品を配備
- ・ 認知症カフェの運営
- ・ 単身世帯高齢者に対するおせち料理宅配サービス
- ・ 防犯パトロール、セーフティーウォッチャー、子ども 110 番の協力
- ・ 買い物支援事業の実施
- ・ 保育園児の訪問受け入れ、運動会への参加
- ・ 一人暮らし高齢者への食事提供、健康チェック、イベント鑑賞 他

問4 地域との関係は、どのようなきっかけで始まりましたか。該当するものをすべて選んでください。

	項目	回答数
1	施設開設時に地域の会合等で関係者に挨拶に行ったこと	27
2	町内自治会に加入したこと	32
3	地域行事に参加したこと	38
4	施設行事に住民の参加を呼びかけたこと	46
5	施設でのボランティア活動を住民に呼びかけたこと	29
6	施設利用者の家族が地域の関係者に交流を呼びかけたこと	13
7	地域関係者が施設に交流を働きかけたこと	28
8	社会福祉協議会に相談したこと	10
9	その他	9

(n=81)



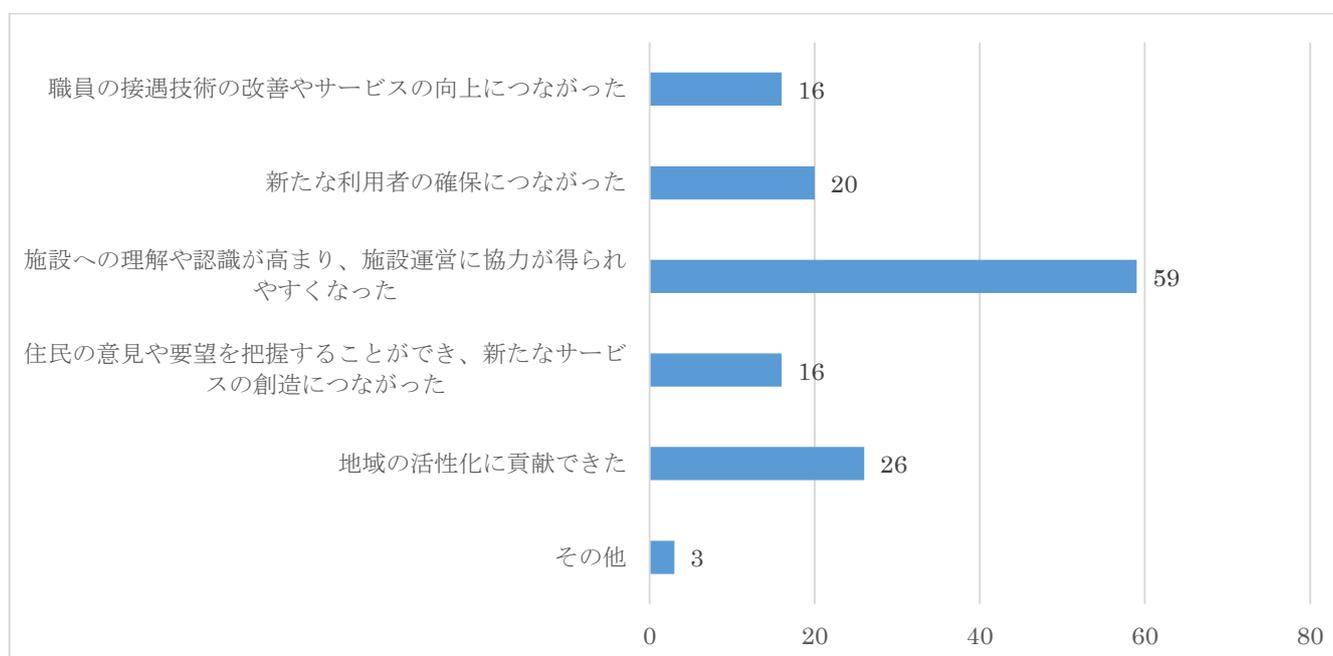
【その他の記述例】

- ・施設の職員が町内会の役員だったこと
- ・開所時から地域の会議に参加していた
- ・社会福祉協議会からの相談
- ・開設時から地域住民とのつながりがあった
- ・地域の相談窓口業務を担ったこと
- ・事業の一環として取組んだ
- ・施設長が地域の主任児童委員、育成委員会の役を受けたことによる

問5 地域との関係からどのような効果が得られましたか。該当するものをすべて選んでください。

	項目	回答数
1	職員の接遇技術の改善やサービスの向上につながった	16
2	新たな利用者の確保につながった	20
3	施設への理解や認識が高まり、施設運営に協力が得られやすくなった	59
4	住民の意見や要望を把握することができ、新たなサービスの創造につながった	16
5	地域の活性化に貢献できた	26
6	その他	3

(n = 81)



【その他の記述例】

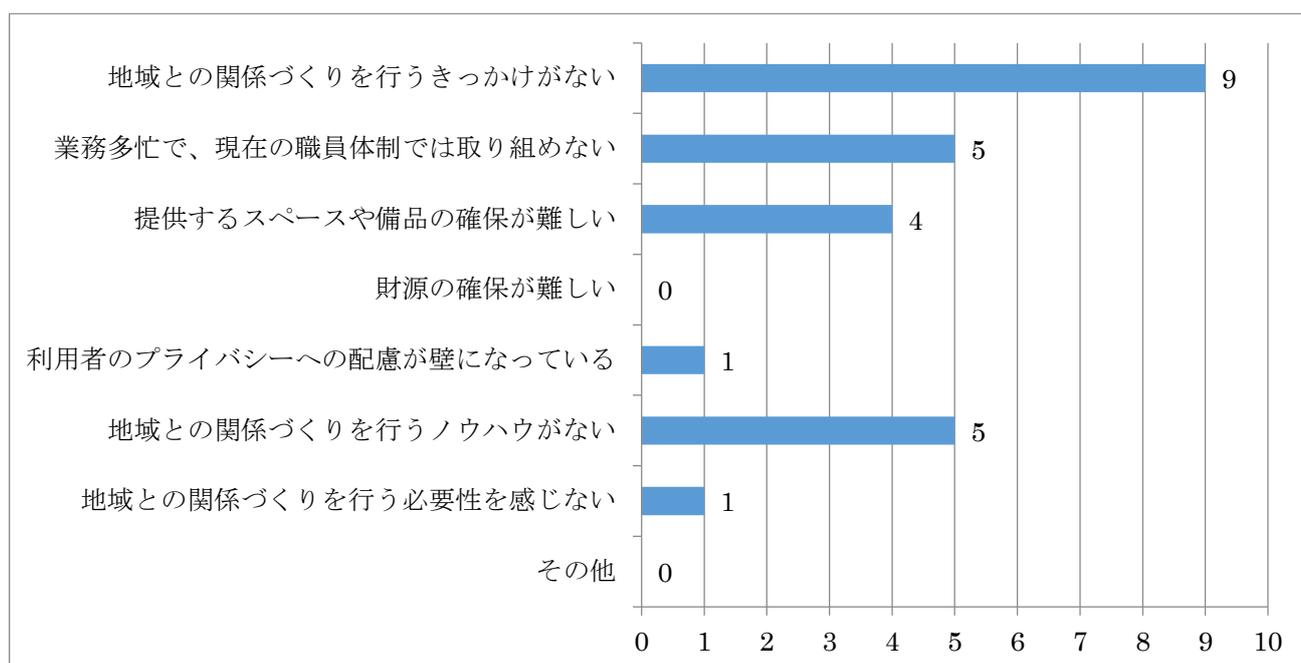
- ・施設開放をした際、その参加者が求人募集に応募されたことがあった
- ・地域とのつながりができた

問1で「2」（ない）と回答された方におたずねします。

問6 地域との関係がないのは、どのような理由からですか。あてはまるものをすべて選んでください。

	項 目	回答数
1	地域との関係づくりを行うきっかけがない	9
2	業務多忙で、現在の職員体制では取り組めない	5
3	提供するスペースや備品の確保が難しい	4
4	財源の確保が難しい	0
5	利用者のプライバシーへの配慮が壁になっている	1
6	地域との関係づくりを行うノウハウがない	5
7	地域との関係づくりを行う必要性を感じない	1
8	その他	0

(n=11)

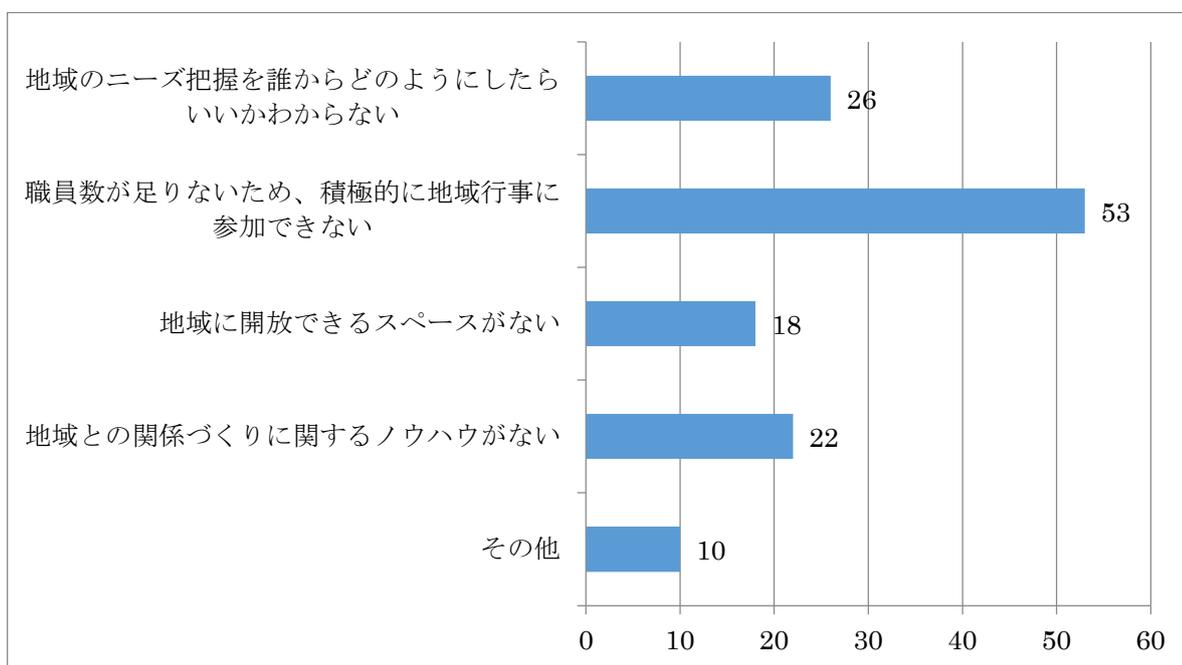


すべての方におたずねします。

問7 地域との関係を進める上での課題は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

	項目	回答数
1	地域のニーズ把握を誰からどのようにしたらいいかわからない	26
2	職員数が足りないため、積極的に地域行事に参加できない	53
3	地域に開放できるスペースがない	18
4	地域との関係づくりに関するノウハウがない	22
5	その他	10

(n=92)



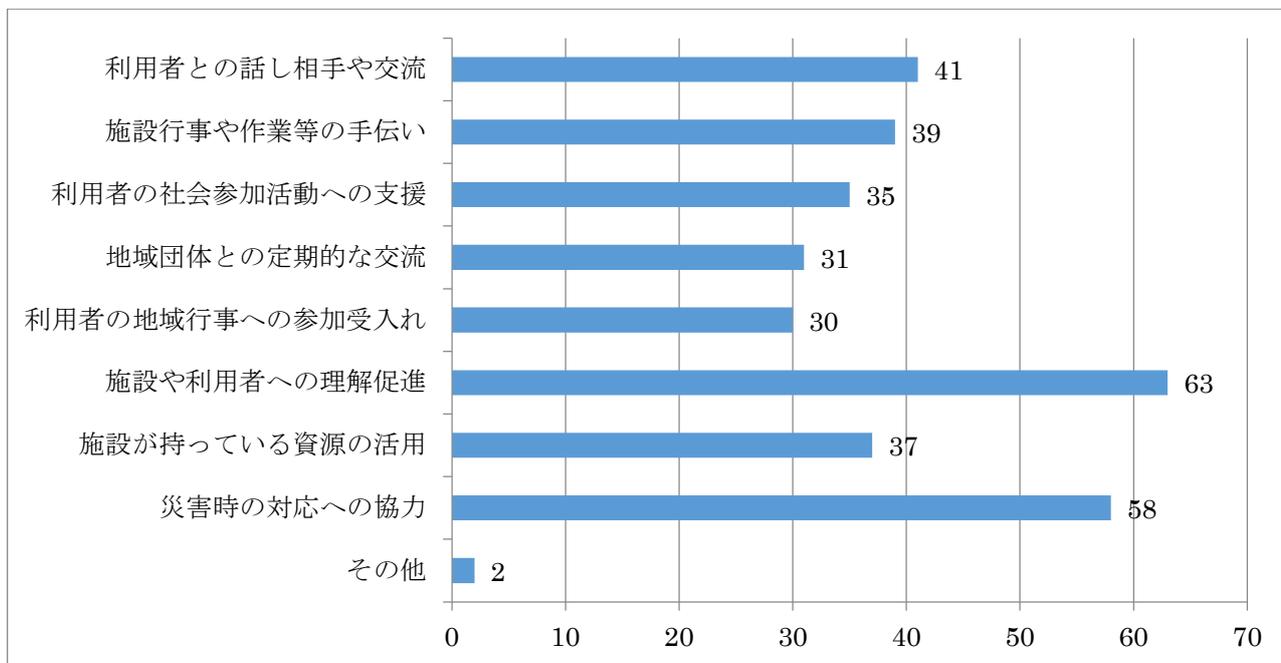
【その他の記述例】

- 地域の方への働きかけとして、地区長や町会長等の立場に配慮するあまり、調整が難しいと感じたことがある。
- 無償で地域のために行いたい事もあるが、実際にかかるコストの負担が問題
- 地域交流スペースの重要性は法人としても理解しているが、在宅介護における介護報酬単価が年々下げられている昨今では、収益性のある事業展開をしなければ、事業全体が廃止に追い込まれる事態になりかねない。今後収益の出る事業を展開する場合、そのスペースの確保ができなくなる。
- 出来ることが何なのか、地域との適切な関係をどう築いていくのか検討が必要

問8 貴施設が地域に対し期待することはどのようなことですか。該当するものをすべて選んでください。

	項 目	回答数
1	利用者との話し相手や交流	41
2	施設行事や作業等の手伝い	39
3	利用者の社会参加活動への支援	35
4	地域団体との定期的な交流	31
5	利用者の地域行事への参加受け入れ	30
6	施設や利用者への理解促進	63
7	施設が持っている資源(スペース・備品、専門職等)の活用	37
8	災害時の対応への協力	58
9	その他	2

(n=92)



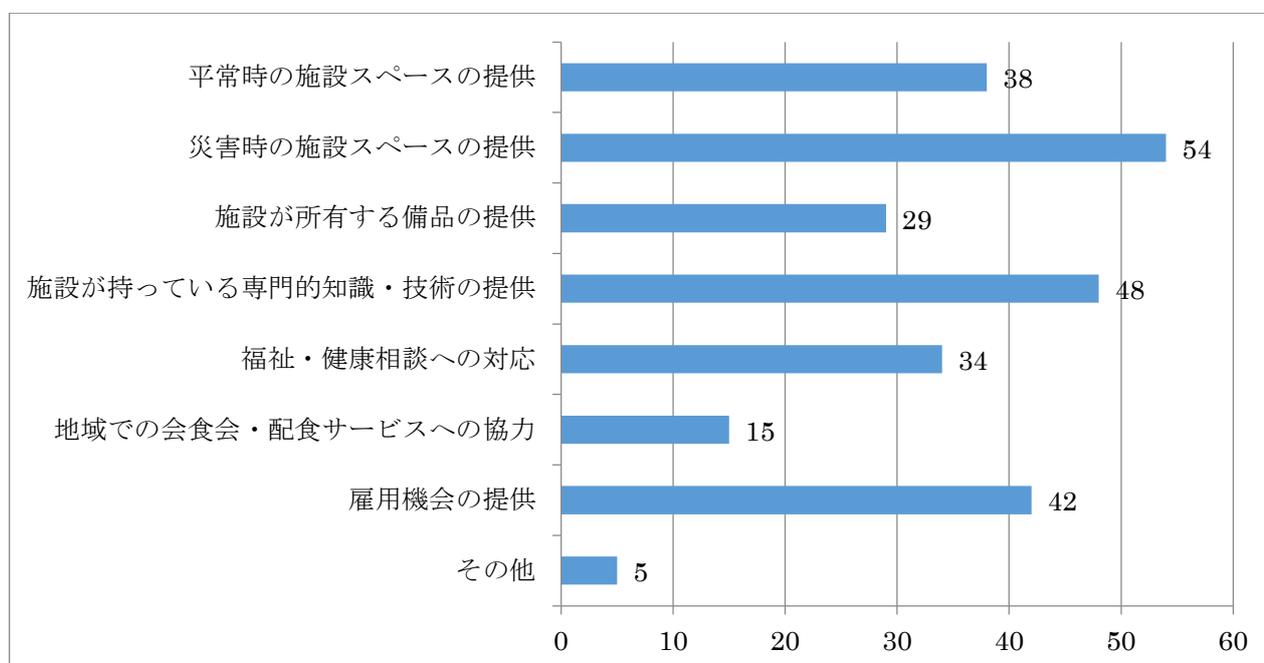
【その他の記述例】

- 気軽に立ち寄れる施設であればよいと思うが、何かをしてほしいという観点はない。地域へ協力できることはしたいし逆に地域の方が協力できる事はしていただければと思う。
- 今後施設の大規模工事等があるため、地域の方に理解してもらいたい。

問9 貴施設が今後、地域に提供可能な内容はどのようなことですか。該当するものをすべて選んでください。

	項 目	回答数
1	平常時の施設スペースの提供(サロン会場など)	38
2	災害時の施設スペースの提供	54
3	施設が所有する備品の提供(デイサービス等の送迎車両の提供を含む)	29
4	施設が持っている専門的知識・技術の提供(施設での講座の開催、職員派遣など)	48
5	福祉・健康相談への対応(施設での開催、地域への職員派遣など)	34
6	地域での会食会・配食サービスへの協力	15
7	雇用機会の提供(送迎車の運転手、調理・清掃・介護補助等のスタッフ、植栽整備など)	42
8	その他	5

(n=92)



【その他の記述例】

- ・介護現場の人材が不足している昨今では、難しいところが多いのではないかと。記録等の業務量が増え、報酬は下げられている現状、地域交流のために人を割くことが困難であると思う。
- ・施設1階の一部を改修し、地域の皆様に提供できるスペースを作るので、地域の人に気軽に利用していただきたい。また、スペース利用についてノウハウがないのでご指導をお願いしたい。

アンケート結果 まとめ

I 基本情報

(1) 開設年数について

回答者のうち、開設10年以上の施設が6割強となっています。

開設年数	児童	保育	高齢	障害	保護	計	割合
3年未満	0	1	9	4	1	15	16%
3～5年未満	1	2	2	3	0	8	9%
5～10年未満	0	3	2	5	0	10	11%
10年以上	2	4	16	9	0	31	34%
20年以上	2	4	15	7	0	28	30%
計	5	14	44	28	1	92	100%

(2) 施設種別について

① 区別・種別

区	児童	保育	高齢	障害	保護	計	割合
中央	1	2	8	3	0	14	15%
花見川	2	1	5	4	0	12	13%
稲毛	1	2	6	5	0	14	15%
若葉	1	1	15	7	0	24	26%
緑	0	5	5	6	1	17	19%
美浜	0	3	5	3	0	11	12%
計	5	14	44	28	1	92	100%

② 形態（通所・入所）別・種別

区分	児童	保育	高齢	障害	保護	計	割合
通所	0	14	5	22	0	41	45%
入所	5	0	39	6	1	51	55%
計	5	14	44	28	1	92	100%

(3) 広報紙の発行について

約半数の施設で、広報紙を発行しています。

①種別ごとの発行状況

区分	児童	保育	高齢	障害	保護	計	割合
発行している	4	2	19	18	1	44	48%
発行していない	1	12	25	10	0	48	52%
計	5	14	44	28	1	92	100%
発行率	80%	14%	43%	64%	100%	48%	—

②広報紙を発行している施設の形態

区分	児童	保育	高齢	障害	保護	計	割合
通所	0	2	4	13	0	19	43%
入所	4	0	15	5	1	25	57%
計	4	2	19	18	1	44	100%

(4) 地域との連携業務を行う職員について

約半数の施設で、地域との連携業務を行う職員が配置されています。

①種別ごとの職員の配置状況

区分	児童	保育	高齢	障害	保護	計	割合
配置している	4	7	27	9	1	48	52%
配置していない	1	7	17	19	0	44	48%
計	5	14	44	28	1	92	100%
配置率	80%	50%	61%	32%	100%	52%	—

②職員を配置している施設の形態

区分	児童	保育	高齢	障害	保護	計	割合
通所	0	7	3	5	0	15	31%
入所	4	0	24	4	1	33	69%
計	4	7	27	9	1	48	100%

Ⅱ 社会福祉法人の地域との関係等について

【問1～問2】

・約9割の施設が、何らかの形で地域との関係（人的関係、事業交流、相互協力活動、施設のスペース・備品の提供など）があると回答しています。

・具体的な関係がある地域団体としては、「町内自治会」（61件）、次に「社会福祉協議会地区部会」（27件）、「地区民生委員児童委員協議会」（27件）が続き、「NPO・ボランティア団体」（19件）、「老人クラブ」（13件）、「子ども会」（4件）となっています。

【問3～問5】

・地域との関係で行っている活動としては、「地域主催行事への参加」（58件）や「施設主催の住民が参加できる行事の開催」（61件）が多く挙げられています。また、「地域行事のための施設開放や備品の貸出」（29件）、「地域主催の会議への参加」（26件）が続き、その他、双方の役員への就任や防災関連行事への参加、協力も行われています。

・地域との関係が始まったきっかけとしては、「施設行事に住民の参加を呼びかけたこと」（46件）、「地域行事に参加したこと」（38件）となっています。また、「町内自治会への加入」（32件）、「施設でのボランティア活動の呼びかけ」（29件）、「社会福祉協議会への相談」（10件）など、様々な方法がとられています。

・地域との関係から得た効果としては、「施設への理解や認識が高まり、施設運営に協力が得られやすくなった」（59件）、「地域の活性化に貢献できた」（26件）が多く挙げられており、その他「新たな利用者の確保につながった」（20件）、「職員の接遇技術の改善やサービスの向上につながった」（16件）などとなっています。

【問6～問7】

・地域との関係（人的関係、事業交流、相互協力活動、施設のスペース・備品の提供など）がないと回答した施設（11施設）にその理由を挙げていただいたところ、「きっかけがない」（9件）、「業務多忙で、現在の職員体制では取り組めない」（5件）、「関係づくりのノウハウがない」（5件）、「提供するスペースや備品の確保が難しい」（4件）となっています。

・全ての施設に地域との関係を進める上での課題を尋ねたところ、「職員数が足りないため、積極的に地域行事に参加できない」（53件）が一番多くなっています。他に、「ニーズ把握をどうすればよいかわからない」（26件）、「地域との関係づくりのノウハウがない」（22件）、「地域に開放できるスペースがない」（18件）などとなっています。

【問8～問9】

- ・施設が地域に対し期待することとしては、「施設や利用者への理解促進」(63件)、「災害時の対応への協力」(58件)などが挙げられています。
- ・施設が地域に提供可能な内容としては、「災害時の施設スペースの提供」(54件)が一番多く、「施設が持っている専門的知識・技術の提供(施設での講座の開催、職員派遣など)」(48件)、「雇用機会の提供(送迎車の運転手、調理・清掃・介護補助等のスタッフ、植栽整備など)」(42件)が続いています。

- ・社会福祉協議会は、地域の福祉課題の情報を多く持っていますが、社会福祉施設との連携は、まだ十分とはいえません。
- ・今後は、社会福祉施設とより連携・協働し、地域における社会福祉法人の役割、地域における公益的な取組みのあり方やその方向性を検討するとともに、地域における様々な福祉ニーズの充足に向けた取組みを進めていくことが必要であると考えます。